



TITLE:

獨逸側ヨリ觀タル英國戰時ノ勞働者階級

AUTHOR(S):

櫛田, 民藏

CITATION:

櫛田, 民藏. 獨逸側ヨリ觀タル英國戰時ノ勞働者階級. 經濟論叢 1917, 5(6): 904-907

ISSUE DATE:

1917-12-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127298>

RIGHT:

學大科法學大國帝都京

叢論濟經

號六第

卷五第

行發日一月二十年六正大

論說

社會學ト社會科學(二).....

文學士

高田保馬

租稅ニ於ケル強制ト任意.....

法學博士

神戸正雄

總同盟罷工論.....

法學士

河田嗣郎

經濟的行爲ト道德的行爲トノ關係(三).....

法學博士

田島錦治

墨子ノ經濟思想(二完).....

法學士

小島祐馬

西歐主義(三).....

文學士

米田庄太郎

土佐藩ノ地割制度(三).....

文學士

小野武夫

時事問題

日米協定ト日本ノ經濟.....

法學博士

神戸正雄

米國ノ貿易制限策.....

法學博士

戸田海市

雜錄

佛國ノ戰時食料政策.....

文學士

山本美越乃

英國戰前ノ海運及貿易情況.....

法學士

小島昌太郎

最近獨逸經濟思潮.....

法學博士

櫛田民藏

日英ノ物價趨勢.....

法學士

神戶正雄

日英ノ物價趨勢.....

法學士

河田嗣郎

獨逸側ヨリ觀タル英國戰

時ノ勞働者階級

(世界戰爭ハ英國ノ參戰ニ依リテ起リ、英國ノ社會革命ハ、世界戰爭ニ依リテ成就ス)

櫛田民藏

英國勞働者階級ノ將來ナル問題ハ、今日ニ於テハ、英國其ノモノノ將來ナル問題ト略ホ同シ意味ヲ持ツテ居ル。其ノ戰後最近ノ狀態ニ就テハ、東京法科大學助教藤森戶學士ガ、國家學會雜誌本年九月號ニ於テ「英國戰時ノ勞働組織」ト題シテ、のーすこつと氏ノ所説ヲ、同十月號ニ於テ「戰爭ト英國勞働者運動」ト題シテのつと氏ノ所説ヲ紹介セラレテ居ル。何レモ時節柄與味アル文字デアルガ、何レモ、英國側ノ所論ニシテ、殊ニのつと氏ノ論ハ學士ガ其ノ紹介ノ小引ニ指摘シタ如ク恐ラク樂觀ニ傾キ過キテ居ル。左記ハ本年八月三日發行「東亞ロイド」紙上ニ掲載ノ獨逸社會民主黨員ニシテ代議士タルギクちる・ばうる・れんし氏ノ「英國ニ於ケル勞働者階級」(Arbeiterklasse in England)ト題スル一篇ノ紹介デアルガ、ロンハ又獨逸側ノ觀察トシテ反對ニ著シク悲觀ニ過ギテ居ル。紹介者ハ素ヨリ此ノ說ニ同意スルト云フデハナイ。只ダ公平ナ第三者ノタメニ樂觀說ト併セ讀ムベキ一材料トシテ紹介ノ勞ヲ採ルノミ。

一九二二年ばーみんぐはむニ開催セラレタル

英國勞働黨大會ニ於テハ、同盟罷工ニ依リテ國際戰爭ヲ防止シ得ベキカトノ問題ヲ次年度大會ノ討議案トナシ、之ガ委員會ヲ組織シ、一定ノ尋問票ヲ作りテ同黨所屬ノ勞働組合ニ配付シ、之ガ回答ヲ求メシモ、配付セラレタル數百ノ尋問票中、回答ヲ得テ回付セラレタルモノ僅カニ八票ニ過キザリシト云フ。是レ同國ノ勞働組合ガ此ノ問題ニ回答シ得ザリシニ因ルモノニアラズシテ、此ノ種ノ問題ヲ以テ回答ノ價值ナシト思惟セシニ依ル。蓋シ之レ、同國ノ勞働者ハ、戰前最近ニ至ルマデ、世界ノ商權ハ英國資本家ノ掌中ニアリ、而シテ自國資本家ノ利益ハ、即チ自己ノ利益ナリト信シタルニ依ルモノナラン。然レトモ何ソ知ラン、英國商權ノ世界の支配ハ、既ニ戰前十數年前ニ於テ動搖シ始メタルコトヲ、而シテ、此ノ世界の大動亂ハ、實ニ此ノ英國商權ノ動搖ニ基クコトヲ。一九〇〇年ニ於ケル英國勞働黨ノ成立及其以後ニ於ケル勞働不安ト、戰前最近同國ニ於ケル獨逸社會政策ノ實施トハ實ニ之ガ動搖ノ徵候タル也。

英國ノ宣戰ハ此ノ自國商權ノ動搖ト、此ノ動搖ニ基ク國內「勞働不安」ノ防止トヲ目的トスルモノナレドモ、其ノ結果ニ就テ見レバ、實ニ世界歷史上ノあろに「タラズンバアラズ」。何ヲ以テ然カ云フ。曰ク、交戰三年ニシテ其ノ齎ラス所ノ平和ハ、恐ラク三十年ヲ出テジ。而シテ戰爭ノ開始ト共ニ資本家ニ味方シテ起チタル勞働者階級ノ贏チ得ル所ハ、一般徵兵令ト軍需品條例ト、其他類似ノ強制立法ニシテ、彼等ノ根本信條ヨリ見レバ、悉ク屈辱的立法ニ外ナラザレバナリ。

常ニ自由ト獨立トヲ誇ル英國勞働黨ニシテ、其ノ何故ニ此ノ如キ屈辱的立法ヲ甘受スルニ至リシカ。之レ彼等ガ思想上ノ混雜ニ基因スルモノ。即チ一方ニ於テ彼等ハ無產者階級ノ利害ヲ代表シナカラ、他方ニ於テハ先キニ述ベシ如ク、資本家ノ利益ヲ以テ自己ノ利益ナリト妄信シタルニ依ル。昨一九一六年ぶりすたるニ開催セラレタル勞働黨大會決議ノ如キハ、此ノ思想上ノ矛盾ヲ遺憾ナク暴露シタル一例ナリ。同會

ハ、大多數ヲ以テ一般徴兵令ヲ否決シ、同案ヲ以テ英國民主主義ノ根本精神ニ反シ、國民ノ自由ヲ檢束スルモノナリト宣言シタルニ拘ラズ、其ノ同ジ會議ニ於テ、其ノ強制徴兵令ヲ實施セントスル内閣ニ向ツテ、同黨選出ノ閣員三名ヲ舉ケンコトヲ條件トシテ、政府ノ味方タランコトヲ決議セリ。是レ矛盾ニアラズシテ何ゾ。此ノ如クニシテ、強制徴兵令ハ實施セラレ、軍需品條例ハ實施セラレ、而シテ、近ク又タ強制勞役制ノ實施ヲ見ントス。

此ノ如キ強制立法ハ、英國國民ノ因襲的道德ト相容レザルノミナラズ、同國ノ職工組合ノ信條ヲ破壞スルモノニシテ、戰後ニ永續セラルベキ性質ノモノニアラズ。然レトモ、此ノ種ノ法令ガ戰後ニ永續セラルルヤ否ヤハ、先ヅ戰局ノ如何ニ係ルガ、戰局ニシテ、英國側ニ有利ニ終結スルモ、戰後ニ於テ、英國ガ其ノ戰前ノ狀態ヲ回復スルハ、極メテ至難ニシテ、英國ノ資本家ハ世界列強ト戰後貿易戰ヲ敢テスルノ止ムヲ得ザルニ至ルベク、其ノ競争ニシテ激烈ナルニ

從ヒ、英國ノ資本家ハ、其ノ商權ノ動搖ニ伴フテ起レル利潤ノ減少ヲ防止スルノ必要上、能率増進ノ方法ト、其貨物生産費減少ノ舉ニ出テザルヲ得ズ。此ノ事實ハ到底資本家ヲシテ戰前ノ勞働條件ヲ遵守セシムルヲ得ザルノミナラズ、却ツテ益々勞働者ニ對スル壓迫ナルベク、強制立法ハ國家ノ對外關係上、資本家側ノ對外關係上恐ラク其ノ儘維持セラルベシ。是レ資本ト勞働トノ衝突ヲ惹起スコト無クシテ止ムモノナランヤ。

英國商權ノ倒ルル時ハ、即チ同國資本家ト勞働者トノ衝突スルノ時ナリ。何トナレバ、同國ニ於ケル資本勞働ノ調和ハ單ニ同國資本家ノ世界商權ノ支配ヲ前提スルモノナレバナリ。亘人カゝる、まるくすハ、一八四八年末ヨリ翌一八四九年ノ初頭、革命年ノ回期ニ當ツテ新ライオン新聞ニ書シテ曰ク。

『國民ヲ舉ゲテ無產者タラシメシ國、巨萬ノ貧民ノ豪血ニ依ツテ全世界ニ覇タルノ國、巨萬ノ貨幣ヲ以テ歐洲革新ノ費用ヲ償ヒシ國、其ノ

國ヨリ階級鬭爭ノ萌芽ハ、今ヤ最モ露骨ニ、最モ無遠慮ニ萌エ出テントシツツアリ。英國ハ夫レ海嶼ノ如キ歟。渚ニウチ寄スル革命ノ一波萬波ハ、此ノ海嶼ニ碎ケテハ散ル。碎ケテハ散レドモ、其ノ海嶼ノ懷ロヨリハ既ニ新ラシキ社會ノ生レ出テントシツツアリ。

英國ハ世界市場ノ支配者也。歐洲各國ノ經濟上ノ變轉ハ、此ノ國ヨリ觀レバ、恰カモ一瓶ノ水中ニ起レル波動ノ如シ。何トナレバ今日一國ノ經濟ハ他國トノ交通ニ依リテ支配セラレ、其ノ相互ノ關係ハ又タ世界市場ノ關係ニ依ツテ左右セラレ、其ノ世界市場ハ今英國資本家ニ依ツテ支配セラレバナリ。

思フニ今日民族ノ獨立運動タルト、封建政治打破ノ運動タルトラ問ハズ、凡ソ歐羅巴ニ起レル個人解放ノ運動ニシテ、佛蘭西革命ニ影響セラレザルモノアラナヤ。然レドモ凡ソ佛蘭西ニ起リシ社會上ノ變動ニシテ、英國資本家、然リ、大英國ノ世界的商權支配ノ前ニ紛碎セラレザルモノアラナヤ。若シ夫レ英國ヲ外ニシテ、佛蘭

西革命、概シテ歐洲大陸ノ革命ノ絶對的成功ヲ希フモノアラバ、其ハ實ニ愚カナル願望ト云ハザルベカラズ。

然リ而シテ老英國ノ倒壞ハ、只ダ是レ一ノ世戰爭界アルノミ。ちやちすと黨ト勞働者團體トハ、此ノ世界戰爭ニ依リテ、甞メテ頑強ナル征服者ヲ征服スルノ機會ヲ得ベシ。英國ノ參加セル凡テノ歐洲戰爭ハ、世界戰爭ナリ。而シテ歐洲戰爭ハ佛蘭西革命ノ最初ノ效果ナリ。歐洲戰爭ニ於テ、英國ハ恐ラク、反革命運動ノ先驅者タルコト、なほれおん時代ノ如ケンモ、英國ノ此ノ參戰ハ英國ヲシテ英國自身ノ革命運動ヲ成就セシム。是レ實ニ英國ガ十八世紀ニ於テ犯シタル革命運動鎮壓ノ罪過ヲ償フモノ也。『云々』ト。世界戰爭ハ、英國ノ歐洲戰爭參加ニ依リテ起リ、英國ノ革命ハ、世界戰爭ニ依リテ成就ストハ此ノ巨人ノ豫言ナリキ。今ヤ此ノ豫言ノ一半ハ實現セラレタルガ、其ノ後半モ亦タ遠カラズ實現セラルルノ期アラン。